

まほろば秦野通信

平成28年7月19日

秦野市市長公室広報課

タイトル	商工業の未来を支える新東名高速道路 商工業者がトンネル工事の現場を見学します
When (いつ)	7月21日(木曜日) 午後3時～4時15分
Where (どこで)	羽根トンネル工事(西坑口)現場(菩提2275番付近)
Who (だれが)	秦野商工会議所会員 30名(会頭:佐野友保)
What (なにを) How (どのように)	<p>羽根トンネル工事の西坑口から掘削現場までトンネル坑内を市内の商工業者が歩いて見学します。</p> <p>新東名高速道路建設事業は、NEXCO中日本により、平成32年度の全線開通に向けて工事が進められています。</p> <p>現在の羽根トンネル(上り線)の掘削状況は、東坑口(寺山側)が約1,600m、西坑口(菩提側)が450mです。</p> 
Why (なぜ)	秦野市内において、どのような工事が進められているのか、市内の商工業者が工事の様子や進捗状況等を知り、新東名高速道路への理解を深める機会を提供します。
問い合わせ	建設部国県事業推進課担当:栗原 電話0463(82)5746

新東名高速道路建設事業概要について

1 概要

新東名高速道路は、21世紀におけるわが国の産業、経済の発展と東西の交流を支える国家的なプロジェクトとして計画された高規格幹線道路です。現東名高速道路とのダブルネットワーク化により、高速道路本来の機能である定時性、快適性を確保するとともに、地震や交通事故等の災害時における代替ネットワークとして、信頼性の確保に大きな役割を果たすものとして事業が進められています。

2 進捗状況

平成24年4月には、御殿場JCT～三ヶ日JCT間の約162kmが、また平成27年2月には、浜松いなさJCT～豊田東JCTの約55kmが開通しました。最終的には、2020年度(平成32)に秦野市区間(約10.9km)を含め、海老名南JCT～豊田東JCT間の全長254kmが完成予定である。

3 秦野市域の概要及び進捗状況

(1) 区間及び延長

寺山～八沢：約10.9km

【トンネル5.6km(51%)、橋梁1.7km(15%)、土工3.6km(34%)】

(2) 用地買収の進捗率状況

ネクスコ中日本区間(新東名本線) 秦野市内全体約97%

国交省直轄区間(秦野ICから246号接続部) 約80%

(3) 羽根トンネル工事(掘)の進捗状況(6月末現在)

東坑口(寺山側)：上り線 約1,600m、下り線 約100m

西坑口(菩提側)：上り線 約450m、下り線 未着手

■ その他参考(ネクスコとの連携)

○ 羽根トンネル現場見学会の開催

地元自治会、団体、夏休み親子見学会(こども育成課)など

○ 新東名のPR活動

市民の日、たばこ祭り、ふれあい祭りなどにブースを出展